公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

第 62 回技能五輪全国大会「理容」職種　競技実施要領

１．競技課題および時間

競技課題１　ファッションヘアカット＆カラー	１４０分
競技課題２　写真とテイストに合わせたパーマスタイル	１３５分
競技課題３　クラシカルバック バリエーションヘア	１２０分
競技課題４　スタイルチェンジ フェードカット＆ホイルワーク（顧客の要望）	８０分

２．競技の内容

選手は競技課題に沿ったスタイルを３体のマネキンで４種目すべて作成すること。

３．モデル

モデルは会場で配布の指定マネキンで、第２、４競技課題は同一のマネキン、第１、３競技課題は各１体別のマネキンを使用する。

マネキンは会場で配布し、選手持参のマネキンは使用できない。

各課題とも衣装、装飾品は装着できない。

４．競技会場設備

選手一人あたりの作業面積は４㎡とする。

電源のコンセントは選手一人につき１２００ﾜｯﾄまでとする（二ヵ口）。

※電気器具の同時使用は不可

作業用テーブルと折りたたみ椅子を設置する。

５．支給材料

メンズマネキン

No.212F（Ｌ）×１個（競技課題２・４で使用）：㈱三矢

No.212F（Ｌ）プラチナブロンド×１個（競技課題１で使用）：㈱三矢

№503×１個（競技課題３で使用）：㈱三矢

カラーリング用２剤

ルベル　エドルオキシ 1000ml ６%×１本：タカラベルモント㈱

ルベル　エドルオキシ 1000ml ２%×１本：タカラベルモント㈱

６．競技日程

11 月 22 日（金）	下見（集合時間	12 時 00 分	終了時間	13 時 30 分）
11 月 23 日（土）	競技（集合時間	９時 00 分	終了時間	15 時 50 分）
11 月 24 日（日）	競技（集合時間	８時 30 分	終了時間	13 時 55 分）

７．提供品（予定）

シャンプー

ユニフィット　リセットシャンプー：クラシエホームプロダクツ販売㈱

コンディショナー

ユニフィット　リペアコンディショナー：クラシエホームプロダクツ販売㈱

ブリーチ剤

ルベル　エドルブリーチ：タカラベルモント㈱

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

禁止事項

１．指定以外のマネキンを使用すること。
２．競技時間以外に競技を行うこと（薬剤の準備等含め、すべて競技時間内に行うこと）。
３．競技時間以外にマネキンに触れること。
４．シザーズケースを使用すること。
５．競技に使用する器具、薬剤等を作業テーブル以外に置くこと。ただし、清掃用具については作業エリアの床に、搬出用の箱等については指定の工具置場におくことができる。
６．競技時間中に作業エリア外から器具、薬剤等を作業エリアに持ち込むこと。ただし、搬出用の道具箱類は指定の工具置場から持ち込むことができる。持ち込んだ道具箱類の中に当該課題に使用しない道具、薬剤等が入っていてもかまわないが、それらを箱から出すことはできない。また、持ち込んだ道具箱類は作業テーブルの上で管理する必要がある。
７．競技時間終了時に作業エリアの清掃が終了していないこと（片付けた器具、薬剤類は、競技時間中に箱等にまとめ、競技終了後、速やかに搬出すること）。
８．審査を受ける際、作業エリアに不要なものがあること（エリア内は作業テーブル、クランプの付いたマネキンのみ。ゴミ袋等含めて審査前に処分すること。養生シート類はその限りではない）。
９．作業エリアに、競技に必要な道具、薬剤以外を持ち込むこと（当該競技に使用しない道具類は、指定の場所に収納すること）。
10. 携帯電話等、外部との連絡を取るためのツールを競技時間中に使用すること（外部との連絡以外の用途でも使用できない）。
11. 競技時間中に選手同士および外部と会話すること。
12. 競技時間中に用具、薬剤の貸し借りをすること。
13. 作業エリア以外で作業を行うこと。
14. マネキンにメイクや印をつけること。
15. 指定以外の電気器具を使用すること。
16. 電気器具の同時使用は不可とする。
17. 国の基準に合わない薬剤、指定以外の薬剤を使用すること。
18. 競技中に競技エリアから出ること（トイレに行く場合は競技・運営委員または補佐員に必ず申し出ること。またこれに要する時間は作業時間内とする）。
19. テープやラップ等によってマスキングすること。
20. 顔や首にパーマ剤が流れること。
21. シャンプー以外の施術をクランプに装着しないで行うこと。
22. カラーカップとして紙皿を使用すること。
23. 上記のほか、競技課題毎に定めた注意事項に抵触した場合は、重大な減点の対象となる。

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

選手の留意事項

１．薬剤を使用する作業および水洗時は手袋を着用すること。手洗い・消毒をこまめに行うこと。
２．作業エリアに限らず、競技エリアの清掃および整理整頓を競技中は常に心掛け各自が責任を持って行うこと（髪などのゴミは所定の場所に片づけること）。
３．清潔で作業のしやすい、理容師らしい作業衣を着用すること。
４．競技課題は提示された通り、正確かつ丁寧で美しい作品を作業時間内で完成させること。
５．作業は競技課題に従い確実に行うこと。
６．質問等は挙手で合図し、競技委員の指示に従うこと。
８．マネキンは人間と同様に扱うため、作業中はカットクロス、カラークロス、パーマクロスを着用し、作業終了時に外すこと（マネキンを下に叩きつけるような行為等は禁止）。ただし、シャンプー時は外してもよい。
９．薬剤の無駄がないようにすること。
10．その他、競技委員の指示に従い行動すること。

その他の事項

１．国際大会の課題公表後における「当日の一部変更」「不測のアクシデントの状況下でも柔軟に対応ができる」ようになるために当日の競技要項の変更をする場合がある（時間の短縮や指定本数、指定枚数の変更など）。
２．支給のマネキンはすべて検品してあるので交換はできない。ただし、何か重大な問題が生じている場合のクレームは申し出ることができる。
３．作業テーブル番号は選手受付時に抽選で決定する。
４．マネキンの首のキャップ前側にゼッケン番号のシールを必ず貼ること。
５．電源、シャワー等のトラブルは近くの競技委員または補佐員に申し出ること。
６．競技時間は理容職種競技会場内の時計で表示する。　※競技終了時間はホワイトボードに表示
７．終了前の時間の告知は運営委員によって行われる。
８．絆創膏の準備等、各自ケガへの対策を講じること。

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題１　ファッションヘアカット＆カラー

１．競技時間

１４０分

２．髪　型

男性のファッションヘアであること。
時代性を取り入れたファッショナブルなコンシュマースタイルであること。
顧客の要望に応えるかのようにコンセプトシートを作成すること。

（１）コンセプトシート

競技開始後、作業を行う前に作品のテーマ、カットデザイン・カラーデザインのポイントを記入するほか、イメージデッサンを描き、作業中は記入したコンセプトシートを作業テーブル上に提示すること。イメージデッサンでは仕上がりのヘアデザインとカラーデザインをイラストで描けるように必要な色味の筆記用具を持参すること。
※作業開始後のコンセプトシートの加筆修正等は行えない。

（２）セット

ファッショナブルなコンシュマースタイルであること。
セット用具、器具はすべて自由（電気器具は除く）。

（３）カラー

ファッショナブルなカラーであること。
技能五輪国際大会を意識したカラーをイメージすること。
すべての毛髪に着色する必要がある。
※カラーリング２剤は支給材料（ルベル エドルオキシ２%および６%）を使用すること。
※ヘアデザインに合わせたウィービング、スライシング、グラデーションなどのカラーリングテクニックを必ず用いること。
※薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用しても良い。ビニール袋の使用は不可。
※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

（４）カット

長さは自由。

３．使用できる電気器具

ハンドドライヤー、ヘアアイロン

４．整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

５．注意事項

①テープや顔面を覆うようなラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。

②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。また、ラップ、ホイルも顔にかからないようにすること。

③薬液処理は、クランプに付けた状態で行うこと。

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

６．採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとセットがコンセプトシートと合致している	10	２
カラー	カラーリングがコンセプトシートと合致している	10	２
トータルバランス	トータルバランス	10	４
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	２

客観審査

審　査　項　目	減　点
すべての毛髪に着色できていない １割できていない＝△１点　２割＝△２点　３割以上＝△３点	△１～３点
ウィービングやスライシングなどのテクニックを用いていない	△３点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している １箇所＝△１点　２箇所＝△２点　３箇所以上＝△３点	△１～３点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
薬剤に無駄がある 多量＝△２点　少量＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△３点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△１点

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題２　写真とテイストに合わせたパーマスタイル

１．競技時間

１３５分（以下の時間区分で実施すること）

作成時間（パーマネントウェーブ、ヘアカット）	１００分
インターバル	１０分
フィンガーセット	２５分

２．写　真

主催者側があらかじめ用意した複数枚の写真から、競技当日、競技主査が無作為に１枚選択し、競技開始と同時に提示する。

３．テイスト

４つのテイストの中から、競技当日、競技主査が無作為に１つ選択し、競技開始と同時に掲示する。

※テイスト：アクティブ、キュート、スマート、ドレッシーの４つ

４．髪　型

選手は写真を再現しつつ、選ばれたテイストに合わせてニュアンスを変更すること。

写真は正面のみとし、その他は自由なデザインとする。

（１）パーマネントウェーブ

使用するパーマロッド数は、最大３５本までとする（ピンパーマはその範囲ではない）。

薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用してもよい。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

（２）カット

カットは、パーマのワインディングの前後いつ行っても良い。ただし、セット時間に入ってからのカット、トリミングは不可。

（３）セット

フィンガーセット　２５分間

ハンドドライヤーのみ使用してフィンガーセットする。

※注意　　セット中はハンドドライヤー以外のセット用具は使用禁止。

整髪料は使用しても良い。

５．インターバル

セットに入る前に１０分間のインターバルを取り、必ずマネキンを水洗いする。

※注意　　水洗い後のセット用具の使用は禁止。

※インターバル中にカット用具、セット用具をまとめ指定の工具置場に搬出すること。フィンガーセットの時間にテーブル上にあってもよい道具はハンドドライヤー、整髪料、毛払い、タオル、タイマー、クランプ、ごみ袋のみ。

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

６．使用できる電気器具

ハンドドライヤー

７．整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

８．注意事項

①テープやラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。

②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。また、ラップ、ホイルも顔にかからないようにすること。

③薬液処理は、クランプに付けた状態で行い、必ずターバンを使用すること。

④パーマの施術時には必ずターバンを使用し、顔や首に薬液が流れないようにすること。

８．採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	写真と同様のデザインがテイストに合わせてニュアンスチェンジできているか	10	２
パーマ	テイストに合わせた流れや動きが表現されているか	10	２
トータルバランス	トータルバランス	10	４
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	２

客観審査

審　査　項　目	減　点
ロッドの跡がついている パーマ部分の１／３についている＝△１点 パーマ部分の２／３についている＝△２点 パーマ部分のすべてについている＝△３点	△１～３点
輪ゴムの跡がついている パーマ部分の１／３についている＝△１点 パーマ部分の２／３についている＝△２点 パーマ部分のすべてについている＝△３点	△１～３点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△３点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△１点

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題３　クラシカルバック バリエーションヘア

１．競技時間

１２０分

２．髪　型

伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えたスタイルであること。

（１）カット

カットはクラシカルヘアカットであること。

ネックラインは男性的な美しいぼかしであること。

すべての鋏（すきバサミを含む）・レーザーを使用してもよい。

襟足とサイドは伝統的なテーパーをつけ、毛量を段階的に減らす。

クリッパーの使用は不可。

（２）カラー

カラーは自毛以外のカラーを３色以上とする。脱色・脱染のみは１色として換算しない。

※カラーリング２剤は支給材料（ルベル　エドルオキシ２%および６%）を使用すること。

※薬液処理等のドライヤー加熱時は、ドライヤーボンネットを使用してもよい。ビニール袋の使用は不可。

※前処理剤、後処理剤、ダメージ軽減のためのトリートメント剤を使用（混合）してもよい。

（３）セット

セット用具、器具は全て自由（電気器具は除く）。

フロントのデザインは自由とする。

３．使用できる電気器具

ハンドドライヤー

４．整髪料

一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

５．注意事項

①テープや顔面を覆うようなラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。

②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。また、ラップ、ホイルも顔にかからないようにすること。

③薬液処理は、クランプに付けた状態で行うこと。

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

６．採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとセットの全体的印象	10	２
カラー	カラーリングの全体的印象	10	２
トータルバランス	トータルバランス	10	４
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	２

客観審査

審　査　項　目	減　点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している １箇所＝△１点　２箇所＝△２点　３箇所以上＝△３点	△１～３点
ネックラインにシャープさがない ネックラインがゆがんでいる＝△１点　ネックラインがついていない＝△２点	△１～２点
後頭下部に色彩がない	△１点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
薬剤に無駄がある 多量＝△２点　少量＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△３点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△１点

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題４　スタイルチェンジ フェードカット＆ホイルワーク
（顧客の要望）

１．競技時間
　８０分

２．髪　型
　第２課題「写真とテイストに合わせたパーマスタイル」で作成したマネキンを、お客さまからの要望を叶えながらフェードスタイルにチェンジする。ブリーチによるホイルデザインとカラーデザインを施すこと。お客さまの要望は、刈り上げの高さ、厚さ、スタイリングの要素について、競技当日、競技主査が無作為に１つ選択し、競技開始と同時に提示する。
　（要望例：高さ＝ハイフェード、スキンフェード、スタイリング＝ハードパートなど）

　（１）カット
　　要望に合わせたカットを行うこと。
　　器具は一切自由。

　（２）カラー
　　ホイルの枚数は３枚使用すること。
　　ホイルワーク以外のカラーデザインを施すこと。

　（３）セット
　　要望に合わせたセットを行うこと。

３．使用できる電気器具
　ハンドドライヤー、クリッパー、トリマー、シェーバー

４．整髪料
　一切自由（ただし、カラースプレー、カラーパウダーおよびそれに類似するものは除く）。

５．注意事項
　①テープや顔面を覆うようなラップ等によるマスキングは禁止（保護クリーム等は使用可）。
　②マネキンは人として扱うため、ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。また、ラップ、ホイルも顔にかからないようにすること。
　③薬液処理は、クランプに付けた状態で行うこと。
　④競技開始前にシャンプーした状態にしておくこと。

公　表　理容職種　第 62 回大会用　　※＿＿は前回大会用資料の記述から変更しています。

６．採点項目および配点

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット	要望に合わせたカットの全体的印象	10	2
カラー	要望に合わせたホイルデザインとカラーデザイン	10	2
トータルバランス	トータルバランス	10	4
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	2

客観審査

審　査　項　目	減　点
ホイルの枚数が規定の枚数に達していない １枚＝△１点　２枚以上＝△２点	△１～２点
ホイルワーク以外のカラーデザインが施されていない	△１点
刈り上げ部分にロッドの跡がついている 刈り上げ部分の１／３についている＝△１点 刈り上げ部分の２／３についている＝△２点 刈り上げ部分のすべてについている＝△３点	△１～３点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△１点　耳や襟に付着している＝△１点	△１～２点
薬剤に無駄がある 多量＝△２点　少量＝△１点	△１～２点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△１点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△３点

不安全行動に対する減点

減　点　項　目	減　点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△１点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△１点